

仕 様 書

1 件名

高等学校用プロジェクタ

※ A・Bブロック共通

2 納入期限

令和9年（2027年）3月31日（水）

3 納入及び検査場所（対象校）

別紙1「対象校一覧」のとおり

4 機器構成

(1) 超短焦点プロジェクタ ※ブロックAのみ

- ア 方式：3原色液晶シャッター式投映方式であること。
- イ 明るさ：4100ルーメン以上であること。
- ウ 色再現性：フルカラー（10億7000万色）以上であること。
- エ 解像度：1280×800ドット（WXGA）対応以上であること。
- オ コントラスト比：「2,500,000：1」以上であること。
- カ 重量：約6.0kg以下（オプションを除く）であること。
- キ 投影性能：80インチをレンズから50cm以内で投影可能なこと。
- ク 入力端子：デジタル入力（HDMI）、アナログ入力（ミニD-sub15ピン）に対応していること。
- ケ 湾曲面投影時の歪み補正機能を有すること。
- コ 電子ペンを装備し、投影面に図形や文字の書き込みができること。
- サ 2画面表示が可能であること。
- シ ワイヤレスリモコンを装備していること。
- ス 16W以上のスピーカを内蔵していること。
- セ IEEE802.11b/g/n無線LANに対応し、PC等の画面をワイヤレスで投影可能なこと。
また、無線LAN機能を搭載したPC等と最大50台の接続が可能であること。

(2) プロジェクタ ※Bブロックのみ

- ア 方式：3原色液晶シャッター式投映方式であること。
- イ 明るさ：4000ルーメン以上であること。
- ウ 色再現性：フルカラー（1677万色以上）であること。
- エ 解像度：1280×800ドット（WXGA）対応以上であること。
- オ コントラスト比：「16,000：1」以上であること。
- カ 重量：2.6kg以下（オプションを除く）であること。
- キ 外形寸法：350×250×90 [W×D×H(mm)]（突起部を除く）以内であること。
- ク 投影性能：80インチをレンズから2.3m以内で投影可能なこと。
- ケ 入力端子：デジタル入力（HDMI）に対応していること。
- コ ダイレクトパワーオンが可能なこと。
- サ タテヨコ台形歪み補正機能を有すること。
- シ ワイヤレスリモコンを装備していること。
- ス 2W以上のスピーカを内蔵していること。
- セ IEEE802.11b/g/n無線LANに対応し、PC等の画面をワイヤレスで投影可能なこと

(オプション装着でも可)。

(3) インターフェースボックス ※ブロックAのみ

- ア (1)の超短焦点プロジェクタに対応していること
- イ 手元の操作で、(1)の超短焦点プロジェクタの電源のON/OFFやソースの切り替え、ダイヤルによる音量調整が可能なこと
- ウ 映像入力HDMI×1以上を備えており、(1)の超短焦点プロジェクタと1台で接続できること
- エ 出力側もHDMI×1以上を備えており、単なる入力切替ではなく、映像・音声信号の中継・延長（インターフェースボックス機能）として利用できること。
- オ プロジェクターと機器間の配線距離を延長できるため、天吊り・壁掛け設置時でも教卓側で機器接続を完結できる柔軟な配線設計が可能であること。

(4) マグネットスクリーン

- ア 本体サイズ：幅1810mm×高さ1200mm程度以下であること。
- イ スクリーンサイズ：幅1720～1750mm×高さ1080～1130mmの範囲内であること。
- ウ 重量：約3.2kg 以下であること。
- エ 表面生地はホワイト系色でホワイトボード用マーカーで書き消しできる素材であること。
- オ 裏面がマグネットシートであること。
- カ ホワイトボードマーカー（黒、赤の2色）及びイレーザーを添付すること。
- キ 本体又はシートをスライドさせることで設置や収納ができること。

(5) ワイヤレスHDMI送受信機

- ア 映像信号を送信する「送信機」と、映像信号を受信し出力する「受信機」の1対1のセットであること。
- イ 送信機側インターフェース：USB Type-C™ プラグ（DisplayPort™ Alt Mode 対応）であること。
- ウ 受信機側インターフェース：HDMI タイプA（19ピン・メス）であること。
- エ 受信機は安定動作のため、付属のUSB Type-Cポート等から外部給電（5V/1A以上推奨）が可能であること。
- オ 専用アプリケーションやドライバーのインストール、複雑なネットワーク設定が不要で、機器を接続するだけで映像伝送が可能（プラグアンドプレイ対応）であること。
- カ 最大出力解像度：FullHD（1920×1080px） / 60Hz に対応していること。
- キ HDCP 1.4 に対応し、有料コンテンツや著作権保護された映像・音声の伝送が可能であること。
- ク 接続するPCの「ミラーリング（複製）」および「マルチディスプレイ（拡張）」
- ケ 電波干渉が少なく安定した伝送が可能な5GHz帯を使用していること（屋内専用）
- コ 障害物のない直線見通し環境において、最大30mまでのワイヤレス転送が可能であること。
- タ 伝送遅延について、最大200ms以内であること。
- チ 送信機本体に物理ボタンを搭載し、1回のボタン操作で映像伝送を停止し、画面表示のON/OFFを切り替えられること。
- ツ 送信機サイズ：幅約76mm × 奥行約35mm × 高さ約16mm（ケーブル部除く）程度のコンパクト設計であること。
- テ 受信機サイズ：幅約55mm × 奥行約55mm × 高さ約12mm 程度であること。

- ト 納品後、少なくとも 1年間のメーカー保証が提供されること。
- ナ Chromebook/WindowsOS端末で動作確認済みであること

5 数量

別紙 2 「対象校別納入数量一覧」のとおり

6 その他

(1) 基本事項

- ア すべての納入物品について、日本国内での利用を想定した製品であること。
- イ 機器構成で、複数台必要なものは、同一メーカー・同型番とすること。
(要件が同じ機器であっても、項目が異なる場合は、同一メーカー・同型番でなくてよい。)
- ウ 機器の選定にあたっては、札幌市教育委員会の同種の案件においてトラブルが発生していないことをメーカーに確認すること。過去にトラブルが発生し、その改善の見込みがないものについては、本仕様書の要件を満たす場合であっても、要件を満たさないものとみなす。
- エ 物品納入業者は各納入物品のメーカーを問わず、修理・メンテナンスの対応窓口となること。
- オ 社名及び担当者等が変更になった場合、遅滞無く納入校及び担当課に連絡すること。
- カ 落札後、速やかに機器構成一覧 (Excelデータ) を提出すること。
また、納入完了時に納品書 (機器構成一覧を含む) を提出すること。

(2) 機器の整備 (納入) について

- ア 最終レイアウト等について納入前に学校と十分に協議した上で、納入物品の搬入・設置を行うこと。ただし、超短焦点プロジェクタ、プロジェクタ及びマグネットスクリーンについては搬入のみで設置は不要とする。
- イ 更新機器の搬入の詳細については、学校と協議し決定すること。
- ウ 機器等の梱包材は、納入後速やかに引き取ること。
- エ 機器の搬入・開梱・設置・梱包材廃棄等に係る費用を見積 (入札) 金額に含めること。
- オ 納入機器全ての動作チェック、初期不良等の確認を必ず行うこと。
- カ オプション品の取付けを行った上で納入すること。
- キ 各機器については、待機電力を消費させないように工夫すること。
- ク 機器の搬入・設置につき問題が生じたときは、担当課の指示に従うこと。
- ケ 校内での作業時には、名札を着用すること。
- コ 作業場所における防災、保安等に協力すること。
- サ 付属品、取扱説明書などは整理し、梱包してその内容物が分かるように梱包箱ごとに明記した上で学校に引き渡すこと (下図 (サンプル) 参照)。

図 (サンプル)

高等学校用プロジェクタ (〇〇高校) 納入業者: 〇〇〇〇株式会社 納入日 : 令和 9 (2027) 年 3 月 31 日 (1 / 2)

(3) 機器登録について

- ア 納入機器でメーカーに登録が必要なものについては、「札幌市教育委員会」とし、メールアドレスの登録が必要な場合は、登録するメールアドレスについて、担当課に確認すること。
- イ 登録した機器については、その登録情報を提出すること。

(4) サードパーティ製の部品を使用する場合について

下記ア～ウの要件を満たしていること。

- ア 本体のメーカー保証期間と同期間以上のメーカー保証が付いていること。
- イ メーカーにて本体との動作確認がされていること。
- ウ RoHS指令に準拠していること。

(5) 整理票について

上記 4 の機器について、図 1 のとおり、整理票（シール、大きさは縦 4 cm×横 5 cm 程度）を作成し、納入物品に貼付すること。なお、整理票の貼付位置は担当課と協議すること。

また、各項目の作成ルールについては、以下のとおり。

- ア 品名
分類番号を記載すること。分類番号については、別紙 3 を参照のこと。
- イ 品名
「高等学校用【物品名】」とすること。
- ウ 所属
「□□□□□□□□□」には、別紙 1 「設置校別数量一覧」の納入先名を記載すること。
- エ 備考
「●●」には納入先ごとの機器の総数を、「▲▲」には機器の通し番号を記載すること。
(例) プロジェクタが 3 台納入される学校の場合、2 台目のプロジェクタについては、「機器番号 3-2」と記載すること。

図 1

整 理 票	
番 号	4506
品 名	高等学校用【プロジェクタ】
受 入	令和9年3月31日
所 属	□□□□□□□□□
備 考	機器番号 ●●－▲▲

(6) その他

仕様等に不明な点がある場合は、必ず入札前に担当課に確認すること。

7 担当課

札幌市教育委員会 総務部 学校支援課 ICT推進担当 福塚
TEL 011-211-3826

対象校一覧【高等学校ICT機器（高等学校用プロジェクト）】

契約 ブロック	学校名	所在地	学校番号	電話番号
A	旭丘高等学校	札幌市中央区旭ヶ丘 6 丁目 5 - 18	41001	011-561-1221
	平岸高等学校	札幌市豊平区平岸 5 条18丁目 1 - 2	45001	011-812-2010
	藻岩高等学校	札幌市南区川沿 3 条 2 丁目 1 - 1	46001	011-571-7811
	啓北商業高等学校	札幌市南区石山 1 条 2 丁目15 - 1	46002	011-591-2021
B	大通高等学校	札幌市中央区北 2 条西11丁目 1 - 1	41004	011-251-0229
	新川高等学校	札幌市北区新川 5 条14丁目 1 - 1	42001	011-761-6111
	清田高等学校	札幌市清田区北野 3 条 4 丁目 6 - 1	45501	011-882-1811

対象校別納入数量一覧【高等学校用プロジェクタ】

項 目	数 量(Aブロック)					数 量(Bブロック)				数 量
	小計	旭丘高	平岸高	啓北商業高	藻岩	小計	大通高	新川高	清田高	合計
4 機器構成										
(1) 超短焦点プロジェクタ	52 台	24	10	12	6	0 台	0	0	0	52 台
(2) プロジェクタ	0 台	0	0	0	0	46 台	17	24	5	46 台
(3) インターフェースボックス	52 台	24	10	12	6	0 台	0	0	0	52 台
(4) マグネットスクリーン	42 台	24	0	12	6	26 台	17	0	9	68 台
(5) ワイヤレスHDMI送受信機	52 台	24	10	12	6	46 台	17	24	5	98 台

分類番号一覧【高等学校用プロジェクタ】

番号	機器
4506	超短焦点プロジェクタ
4506	プロジェクタ
4532	インターフェースボックス
1112	マグネットスクリーン
4522	ワイヤレスHDMI送受信機